

カリキュラム区分		5カリ			シラバス区分			大学院		
科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）		時間	単位	
		学年	学期							
専門分野	M227	1年	通年	看護学	必修	特別研究Ⅰ		120	4	
						Advanced ResearchⅠ in the Specialty Division				
担当教員										
中西 純子		野本 百合子／北川 恵		徳永 なみじ／窪田 静		豊田 ゆかり／仲渡 江		中越 利佳		
田中 昭子		越智 百枝		中平 洋子		田中 美延里		鳥居 順子		
関連するDPキーワード（看護学専攻）										
☐	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。									
☐	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。									
☐	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。									
☐	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。									
☐	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。									
☐	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。									
関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）										
	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。									
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。									
	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。									
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。									
	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。									
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。									
授業目的										
根拠に基づく看護実践や看護管理、看護学教育の展開を目指して、看護学および看護実践、看護学教育に関わる疑問や問題を解決するために活用できる新たな成果を得るための研究テーマを特定して研究計画を作成するとともに、研究を遂行するための基盤となる能力を修得する。また、作成した研究計画を「修士論文研究計画発表会」において、研究の背景や目的、意義等が他者に伝わるように発表する能力を修得する。これらの過程を通して、自身の専門領域での知見を深めるとともに、地域の保健医療に寄与できる能力を修得する。										
到達目標（授業目標）										
以下のことができる。 ①自身の専門領域に関連する文献や先行研究を検討し、自身の研究テーマを特定する。 ②特定したテーマから、自身の研究課題を絞り込み、修士論文として実現可能な研究の目的・目標を設定する。 ③設定した目的・目標の達成に妥当な研究方法論を選択し、具体的な研究遂行計画を立案する。 ④①～③を通して作成した研究計画書を「修士論文研究計画発表会」において、他者に伝わるように発表し、質疑に応答する。 ⑤発表会における質疑応答やその後の議論を通して明らかになった研究遂行上の課題を具体的に検討する。 ⑥検討した内容に基づいて研究計画書を洗練し、研究倫理審査委員会に申請するための準備を整える。										
授業計画（項目・内容と方法・担当者）										

[illegible]

備考	※「研究指導計画」に沿って指導担当教員と相談の上、研究指導計画書を作成して指定日までに、事務局へ提出する。 また、研究計画発表会において研究の概要を発表し、他者からの助言を得る。
----	--